

平成 25 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 島 根 秀 明  
(コード 8737 東証第2部)  
問合せ先 取締役執行役員経営企画部長 川中 雅浩  
(TEL 03-6821-0606)

## 平成26年3月期第1四半期業績と前年同四半期業績との 差異に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）の業績が、前期の平成 25 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 3 月期第 1 四半期業績と前年同四半期業績との差異について

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
平成 25 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (A)	737	709	42	221	184	(注2)33円15銭
平成 26 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (B)	1,769	1,663	639	839	695	117円52銭
増減額 (B-A)	1,031	954	597	617	510	84円37銭
増減率 (%)	139.9	134.6	(注1) -	278.7	276.9	354.5

(注1) 営業利益の増減率は、1,000%を超えているため「-」と記載しております。

(注2) 当社は平成 25 年 1 月 10 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### 2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和策や各種経済対策の効果により、回復に向けた動きが続きました。また、企業の業況感の改善が雇用情勢及び個人消費に好影響を及ぼし始めてきました。

株式市場におきましては、期首に 12,000 円台で始まった日経平均株価は、4 月に公表された日銀による異次元の金融緩和策を受けて円安が大きく進行し、株価は上昇を続け、5 月中旬には約 5 年 4 ヶ月ぶりとなる 15,000 円台を回復しました。その後円安が進む中で、日経平均株価は 16,000 円に迫る場面もみられましたが、長期金利が上昇したことや急速な株価上昇に対する警戒感が広がったこと、米国における量的金融緩和の縮小観測が高まったこと等により、5 月中旬以降は調整局面となり、6 月末の日経平均株価は 13,677 円 32 銭で取引を終了しました。

このような市場環境の中で、当社グループの中核会社であるあかつき証券(株)におきましては、市

況の変化に合わせて外債販売を中心とした営業戦略から、株式・投信を中心とした営業戦略への転換を進め、5月より新たに外国株式の取り扱いを開始することにより機動的な商品提供を行ってまいりました。また、IFA（金融商品仲介業）ビジネスの提案等の法人ビジネスの強化にも取り組み、収益の多様化を図りました。

加えて、前連結会計年度に連結子会社としたドリームバイザー・ホールディングスグループが提供する投資関連情報等を使用するなど、対面営業の更なる強化を図りました。

以上の結果、当社の連結子会社であるあかつき証券㈱の当第1四半期連結累計期間の業績は、受入手数料1,162百万円（前年同四半期比167.1%増）、トレーディング損益406百万円（同57.8%増）、営業利益702百万円（同782.3%増）、経常利益704百万円（同700.1%増）、四半期純利益600百万円（同860.4%増）となりました。

また、当社グループの当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,769百万円（同139.9%増）、営業利益639百万円（前年同期は営業利益42百万円）、経常利益は839百万円（前年同四半期比278.7%増）、四半期純利益は695百万円（同276.9%増）となりました。

以 上